



vRealize Operations Manager 用 Dell EMC OpenManage Management Pack バージョン 2.0

インストール ガイド

メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: はじめに	4
前提条件.....	4
サポートマトリックス.....	4
章 2: OMIVV での拡張モニタリングの設定	5
章 3: vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack バージョン 2.0 のインストールまたはアップグレード	6
OMIVV インスタンスの追加.....	7
OMIVV インスタンスの削除.....	8
章 4: トラブルシューティング	9

はじめに

vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack を使用すると、VMware vCenter 用 OpenManage Integration (OMIVV) 4.0 以降で管理される Dell EMC PowerEdge サーバーおよびシャーシの正常性状態を監視し、重要なメトリックを分析できます。

トピック：

- [前提条件](#)
- [サポートマトリックス](#)

前提条件

以下は、vRealize Operations Manager 用の OpenManage Management Pack をインストールするための要件です。

- VMware vCenter 用および vRealize Operation 用 OpenManage Integration の互換性のあるバージョンが必要です (表 1 を参照)。
 - Dell EMC ホストを管理するための OMIVV ライセンスを持っていることを確認します。OMIVV ライセンスについては、*OpenManage Integration for VMware vCenter Quick Installation Guide for vSphere Web Client* を参照してください。
 - 500 台を超えるサーバーを管理する場合は、vROPS 構成が [特大] に設定されていることを確認します (6.5 以上)。
- メモ:** OMIVV が多数のサーバー (>100) を管理している場合、vROPS で [収集間隔 (分)] の設定値は 45 にすることを勧めます。
- Dell EMC Management Pack を使用してホストを管理するには、そのホストが Dell EMC OMIVV の接続ホスト認証情報プロファイルの一部であることを確認します。

サポートマトリックス

表 1. サポートマトリックス

vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack のバージョン	必要な VMware vCenter 用 OpenManage Integration のバージョン	サポートされる vRealize Operations Manager のバージョン
1.0	4.0	6.3、6.4
1.1	4.0、4.1、4.2	6.3、6.4、6.5、6.6
1.2	4.2、4.3	6.5、6.6、6.7、7.0
2.0	5.0	6.7、7.0、7.5

- メモ:** サポートされている PowerEdge、シャーシ、および対応ファームウェアバージョンについては、OMIVV のドキュメントを参照してください。サポートされている PowerEdge サーバーの詳細については、dell.com/support にある『OMIVV compatibility matrix』を参照してください。

OMIVV での拡張モニタリングの設定

vRealize Operations (vROPS) を使用して VMware vCenter 用 Dell EMC OpenManage Integration (OMIVV) を設定するには、OMIVV で拡張モニタリングを有効にします。

拡張モニタリングのサポートを有効にするには、次の手順を実行します。

1. OMIVV 管理コンソールを起動します。コンソールを起動するには、Web ブラウザーで **https:\\<Appliance IP>** または **<Appliance Hostname>** を開きます。
2. パスワードを [ログイン] ボックスに入力します。
3. 左ペインで、**アプライアンス管理** をクリックして、**拡張モニタリング** セクションまでスクロールダウンします。
4. **拡張モニタリング** セクションで、**編集** をクリックし、次に **有効** または **無効** をクリックして拡張モニタリングのサポートを有効または無効にします。拡張モニタリングのサポートはデフォルトで無効に設定されています。
5. vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack (OMMP) で SNMP アラートをサポートする場合、**SNMP トラップモニタリング** を有効にします。このトラップにより、ユーザーはサーバーやシャーシの正常性状態をリアルタイムでモニタリングできるようになります。

vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack バージョン 2.0 のインストールまたはアップグレード

vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack v2.0 をインストールまたはアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. **Dell.com/support** にアクセスします。
2. vRealize Operations Manager v2.0 をダウンロードするには、次の 2 つの方法があります。
 - a. Dell EMC ソフトウェア仮想化ソリューションのサービス タグを入力して、**検索**を選択します。
 - 該当するモデルを選択します。
 - サーバーのサポート ページで、[**ドライバーおよびダウンロード**] を選択します。
 - [**オペレーティングシステム**] のリストから、適切なバージョンの VMware ESXi を選択します。
 - [**カテゴリ**] リストから [**システム管理**] を選択します。vRealize Operations Manager v2.0 の対応バージョンが表示されます。
 - [**ダウンロード**] をクリックするか、チェックボックスをオンにしてソフトウェアをダウンロード リストに追加します。
 - b. [**すべての製品の参照**] > [**ソフトウェア**] > [**仮想化ソリューション**] を選択します。

メモ: ユーザーは前述のパスに移動すると、リストから直接 vRealize Operations Manager v2.0 を選択できます。
3. **vRealize Operations Manager バージョン 2.0 をアップグレードまたはインストールするには**
 - a. **vRealize Operations Manager** コンソールを **https://<IP または Hostname または FQDN>** として開きます。
 - b. **vRealize Operations Manager** の左ペインで、[**管理**] [**ソリューション**] の順にクリックします。
 - c. [**ソリューション**] タブで、**+** をクリックします。
[**ソリューションの追加**] ページが表示されます。

メモ: vROPS 7.5 の場合は、次の順に移動します。
[**ソリューション**] > [**リポジトリ**] > [**Management Pack の追加**]
 - d. .pak ファイルの場所に移動するには、[**参照**] をクリックします。
 - e. **OpenManageAdapter** .pak ファイルを選択します。
 - f. [**アップロード**] をクリックします。
 - g. [**次へ**] をクリックして続行します。
[**Dell エンド ユーザー ライセンス契約**] (EULA) が表示されます。
 - h. [**ライセンス契約**] を選択して、[**次へ**] をクリックします。
 - i. [**終了**] をクリックします。
これで、**vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack** が、**vRealize Operations Manager** の [**ソリューション**] タブに表示されます。

メモ: 管理パックのインストールが完了するまで 1 分間ほど、ソリューション UI は使用できません。

メモ: インストールまたはアップグレードが完了したら、Dell EMC ダッシュボードおよび Dell EMC のカスタムアイコンを表示するため、vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack からログアウトして再度ログインしてください。
 - j. [**ソリューションの詳細**] タブで、vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack バージョン 2.0 にアップグレードする場合は、アダプターのインスタンスごとに [**収集の停止**] [**収集の開始**] をクリックします。

トピック :

- [OMIVV インスタンスの追加](#)
- [OMIVV インスタンスの削除](#)

OMIVV インスタンスの追加

ホスト名、完全修飾ドメイン名、IPアドレスのいずれか、ならびに OMIVV および vROPS の適切なログイン認証情報を入力して、アダプターインスタンスを追加してください。

アダプターインスタンスを追加するには、次の手順を実行します。

1. ブラウザで、**vRealize Operations Manager** ユーザーインターフェースを起動します。

2. 管理者としてログインします。

3. **管理**→**ソリューション** をクリックします。

ソリューションの**管理画面**が表示されます。

メモ: vROPS 7.5 の場合は、[**構成済みのアダプターインスタンス**] の下の [**OpenManage Management vRealize Operations Management Pack**] に移動して、[**構成**] をクリックします。

4. **vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack** を選択して、**設定** をクリックします。

5. ソリューションの**管理 — OpenManage vRealize Operations Management Pack** 画面で、次の手順を実行します。

a. インスタンス設定：

i. **表示名** フィールドで、アダプタの名前を入力します。

ii. **説明** フィールドに説明を入力します。

b. 基本設定：

i. OMIVV インスタンスのホスト名、FQDN、または IP アドレスを入力します。

ii. ログイン資格情報を追加するには、**+** をクリックします。

iii. OMIVV で認証するための適切な管理者（デフォルトのユーザー名）の認証情報を、vROPS ユーザーの詳細とともに入力します。

メモ: vROPS には管理者権限が必要です。

iv. [**OK**] をクリックします。

v. 入力した設定を検証するには、**テスト接続** をクリックします。

メモ:

拡張モニタリングが有効になっていることを確認します。詳細については、「**OMIVV による設定**」を参照してください。

c. 詳細設定：

i. **詳細設定** を展開し、リストから **collector** を選択します。

ii. 値を [**True**] に設定して自動検出を使用することをお勧めします。

iii. **設定の保存** をクリックします。

iv. **閉じる** をクリックします。

vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack が OMIVV サーバインスタンスからデータの収集を開始します。

メモ:

OMIVV インスタンスを追加すると、3 回のデータ収集サイクル後にサーバーとシャーシのデータとアラートが表示されます。デフォルトではデータ収集サイクルは 5 分ごとに実行されます。

メモ:

物理サーバと ESXi ホスト間に関係を構築し、SNMP アラートをポストするには、vROPS の資格情報が必要です。

6. ホームページに移動し、vROPS の旧バージョン（バージョン 6.5 以前）の場合は、**ダッシュボードリスト** ドロップダウンメニューから **OpenManage ダッシュボード** を選択します。vROPS 6.6 以降の場合は、[**ダッシュボード**] に移動すると [**OpenManage ダッシュボード**] が表示されます。

OpenManage のダッシュボードが表示されます。

メモ:

OMIVV の IP が変更されている場合は、**ソリューションの管理** ウィザードで IP をアップデートします。

メモ:

既存の OMIVV インスタンスを別の OMIVV と交換する場合は、既存の OMIVV インスタンスを削除して新しい OMIVV インスタンスで設定します。

OMIVV インスタンスの削除

1. ブラウザで、**vRealize Operations Manager** ユーザーインターフェースを開きます。
 2. 管理者としてログインします。
 3. **管理**→**ソリューション** をクリックします。
ソリューションの**管理画面**が表示されます。
 - ① **メモ:** vROPS 7.5 の場合は、[**構成済みのアダプターインスタンス**] の下の [**OpenManage Management vRealize Operations Management Pack**] に移動して、[**構成**] をクリックします。
 4. **Management Pack** ソリューション をクリックします。
 5. **OpenManage vRealize Operations Management Pack** を選択し、**設定** をクリックします。
アダプターインスタンスのリストが表示されます。
 - ① **メモ:** Dell EMC アラートをすべてクリアしてから、OMIVV アダプター インスタンスを削除してください。
 6. 必要なインスタンスを選択し、**削除** をクリックします。
 - ① **メモ:**
削除したインスタンスを OMIVV で監視しない場合は、インスタンスを削除した後、OMIVV で**拡張モニタリングを無効**にします。
 - ① **メモ:** OMIVV で管理されるサーバーとシャーシの台数によっては、削除の処理に数分かかることがあります。
- 既存の OMIVV インスタンスを別の OMIVV と交換する場合は、既存の OMIVV インスタンスを削除して新しい OMIVV インスタンスで設定します。

トラブルシューティング

- vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack をバージョン 1.2 以降にアップグレードしてから、HDD リソースのメトリックが表示されません。
 - vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack をバージョン 1.2 以降にアップグレードした後、正しい HDD メトリックを反映するには、アダプターインスタンスの**収集を停止**してから**収集を開始**する必要があります。複数インスタンスの場合は、すべてのアダプターインスタンスで同じタスクを実行する必要があります。
- vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack をバージョン 1.2 以降にアップグレードしてから、HDD の履歴データが表示されません。
 - vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack をバージョン 1.2 以降にアップグレードすると、HDD の履歴データは利用できなくなります。これは想定どおりの動作であり、最新のアップグレードでは、アダプターが HDD と SSD のデータを個別に提供します。ただし、履歴データは SSD のみで使用できます。時間アダプターが更新されるため、HDD メトリクスが新たに作成されます。
- 新しいアダプターインスタンスを作成して設定した後で、ファームウェアメトリクスを確認できません。
 - ファームウェアカタログが更新されても、ファームウェアメトリクスの収集は行われません。OMIVV でインベントリを再度実行し、次の収集サイクルの後でメトリクスをチェックする必要があります。
- アダプターインスタンスを削除すると、不明な状態のリソースが表示されます。
 - アダプターの設定されたインスタンスを削除すると、インベントリビューにサーバとシャーシの古いインスタンスが不明な状態で表示されることがあります。そのようなコンポーネントはインベントリエクスプローラのページから削除します。
- アダプターインスタンスを削除し、新しいインスタンスを作成して同じ OMIVV で設定しましたが、今度はウィジェットにデータが設定されません。
 - データを設定するには、ダッシュボードでウィジェットを編集し、変更を加えずに保存します。設定の詳細については、vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack バージョン 1.2 以降のユーザーガイドを参照してください。
- 稼働状態が「不明」と表示される Dell EMC サーバストレージコントローラがあります。
 - オンボードコントローラ、6 GBps SAS HBA、およびソフトウェア RAID に対しては、リアルタイムモニタリングはサポートされていません。そのため、稼働状態は「不明」と表示されます。
- 同じサーバーに対して複数のトラップを受信すると、基本的な正常性アップデートジョブと拡張メトリックジョブを1分以内に実行できないことがあります。サーバーの関連メトリックは、次回ジョブの実行が正常に完了した後で更新されます。